

第3章 『地域社会（コミュニティ）が育つ』環境づくり

第1節 子どもの創造性・社会性を育む環境づくり

(1) 青少年健全育成事業等の推進支援

現状と課題

- 市内では、青少年健全育成団体、青少年団体をはじめ生涯学習課やスポーツ振興課などが、児童の健全育成のための事業を実施し、子ども達の個性を伸ばすために様々な教育活動を行っています。
- 核家族化、共働き家族の増加、ひとり親家庭の増加などが要因で、子ども達が家族と過ごす機会が減り、子ども同士が集団で過ごす機会が減少し、子ども達の間関係をつくる力や社会性が弱くなってきています。子どもの発達段階に応じた多様な体験機会を提供していくことも重要な課題となっています。
- 子ども達が、多様な体験を通じて、自ら考え、行動できる力を育むことができる環境整備が必要となっています。

施策の方向

- 本市では、市民総ぐるみで青少年健全育成をめざした青少年健全育成会を結成し、「声掛け運動」、「家族そろって朝食をとろう運動」、「全市一斉あいさつ運動」等を推進していきます。
- 恵まれた自然を活用し、さまざまな体験を通じて、異年齢間の交流や地域の人々とのふれあいの場を提供し、子ども達の自主性や創造性、協調性を育んでいきます。

項目	内容
①各種活動の広報活動	今後も、「広報みしま」、「ふじのくにユースネット」を活用して、広報活動を推進します。
②地域特性を活かした歴史等の継承	郷土の歴史・文化等を継承していく活動に対し、継続的に支援を行っていきます。
③チャレンジ精神を育む事業の推進	今後も、チャレンジスクールを開催し、子ども達にチャレンジ精神を育んでいきます。
④余裕教室活用の推進（再掲）	今後各学校では、授業の多様化により少人数教室、多目的室等で利用されるため、余裕教室の発生は見込めませんが、学校教育上支障のない場合に限り、法令の範囲内において、小中学校・幼稚園の施設設備を解放していきます。
⑤小中学校体育施設開放事業の充実（再掲）	学校の夜間や休業日に合わせて開放事業の充実を図っていきます。より一層地域への開放事業の推進を図っていきます。
⑥市立保育園・幼稚園の地域開放の充実（再掲）	幼稚園の園庭解放や幼稚園見学会を進め、地域の子育てを支援します。より一層の地域への開放事業の推進を図っていきます。

⑦青少年健全育成事業等への支援	今後も引き続き、青少年健全育成事業を助成していきます。
-----------------	-----------------------------

項目	内容
⑧地域社会創造のためのコミュニティ活動等の支援	充実した地域社会を築く上で各地域活動の活性化は必要不可欠なため、今後も引き続きその活動を支援していきます。
⑨地域の青少年健全育成団体等の連携を強化	今後も引き続き、自治会・地区健全育成団体や青少年団体相互の連携づくりの強化のために助成します。
⑩青少年団体の育成	今後も引き続き、青少年団体育成のために助成します。
⑪環境美化活動への支援	地域緑化の推進のため、活動団体を支援します。
⑫自然環境保全活動への支援	地域で活躍する市民環境リーダーの活動や地域主体で取組む環境保全活動を支援します。
⑬地域文化の伝承活動への支援	郷土の歴史・文化等を継承していく活動に対し、継続的に支援を行っていきます。

(2) 少年教育の推進

現状と課題

- 生涯学習センターをはじめ、各社会教育施設で少年教育を行っていますが、子ども達の身近な少年教育とするためには、市立公民館、学校余裕教室や地区施設を利用して推進する必要があります。
- 豊かな自然環境をいかした地域での子育て活動の充実と、豊かな自然環境を次世代へと継承していく必要があります。
- 子ども期は人格を形成する時期にあり、家庭、学校、地域社会などにおいて、地域全体で子ども達を育ていくことが必要です。

施策の方向

- 子ども達が、身近な自然にふれたり、郷土の歴史を知ったり、さらに、学校・学年の異なる仲間づくりを目的に、生涯学習センター、各公民館、図書館、郷土資料館において開催している事業を継続実施していきます。
- 家庭、学校、地域のそれぞれの役割について再点検し、連携し、協力しあいながら、子ども達が学習や遊びなどの活動しやすい環境づくりを、推進していきます。

項目	内容
①地域施設等を利用した少年教育の推進	市立公民館・学校等余裕教室や地域施設を利用した少年教育を推進します。
②学校休業日における少年教育	今後も引き続き、「少年少女発明クラブ」、「みしまっ子体験塾」、「ジュニアリーダー研修」を実施します。
③地域文化の継承（再掲）	郷土の歴史・文化等を継承していく活動に対し、継続的に支援を行っていきます。
④チャレンジ精神を育む事業の推進（再掲）	今後も、チャレンジスクールを開催し、子ども達にチャレンジ精神を育てていきます。
⑤環境問題への実践活動の奨励	子どもが健やかに育つための環境づくりを進めるため、自治会や地域団体等へ身近な環境問題の実践活動を奨励します。
⑥子どもの健全育成環境の整備	今後とも、各地区町内会における、子どもと地域の人々が交流するような健全育成活動に対して助成します。

(3) まちづくり意識の啓発

現状と課題

- 子ども達の豊かな人間性を培う生活環境の整備は、子どもだけでなく全ての人の共通の願いです。このため、自然環境をはじめとした環境問題や、安全な生活環境の整備に加え、心と心が通いあう、人と自然にやさしい安全で快適なまちづくりを進めていく必要があります。

施策の方向

- 環境問題への活動や子ども議会への参加等を通じ、子どもが社会の一員として、多様な体験ができる活動を促進していきます。
- 身近な地域にどのような活動があるのか、地域活動に参加したいと考えている子どもと保護者が、地域活動の情報が入手しやすいように、情報の提供に努めます。

項目	内容
①環境問題への実践活動	子どもが健やかに育つための環境づくりを進めるため、自治会や地域団体等へ、身近な環境問題の実践活動の取り組みについて啓発していきます。
②子どもの健全育成環境の整備（再掲）	今後とも、各地区町内会における、子どもと地域の人々が交流するような健全育成活動に対して助成します。
③子ども議会への参加	今後とも引き続き、「中学生の主張大会」を開催していきます。

～ 「地域」に望む（期待する）こと～

- ◎「地域の子はわが子、わが子は地域の子」をモットーに、大人からすすんで声をかけ、よいことを見たなら誉めましょう。
- ◎子どもは、次代を担う社会の宝です。地域社会が連携して子どもや青少年の育成に関心を持ち、あいさつ運動や環境浄化活動に協力しましょう。
- ◎子ども達が、安心して自由に「遊べる場所」や大人から子どもまでの異年齢層が「ふれあう」ことができる行事や活動をつくりましょう。

～ 「事業所」に望む（期待する）こと～

- ◎男女共同参画社会意識の醸成と促進を図り、女性の社会参画とともに、男性の子育て参画の促進に取り組みましょう。
- ◎少子化対策としての子育て環境を自主的に促進することは、将来的には事業所自体と国の成長につながります。就労環境や労働条件の整備促進を図りましょう。
- ◎社会貢献活動や地域貢献活動は、企業のイメージアップにつながります。地域の一員として社会全体で子どもを育てる活動に関心を持ちましょう。

